



消防統計



平成30年度導入災害活動用バイク

西入間広域消防組合消防本部

第42号

令和元年刊行

西入間広域消防組合章
昭和57年2月10日制定



説明 西入間の「西」という字の両端と消防用ホースを組み合わせた外枠とした。
丸型は「和」すなわち組合の団結を意味し、しっかりと結合されたホースは信頼を表す。

構成町町章

毛呂山町章



鳩山町章



越生町章



は じ め に

この消防統計は、平成 30 年中における西入間広域消防組合管内の現況を収録したもので、組織、施設、人員、装備及び予算等については平成 31 年 4 月 1 日現在を採り、火災発生状況、救急、救助、消防活動状況、気象等については歴年で編集いたしました。

この統計により消防行政について一層の認識と理解を深めていただくと共にご指導とご協力を賜わり、火災等の災害予防に役立てていただければ幸いです。

令和元年 8 月

西入間広域消防組合
消 防 本 部

目 次

西入間広域消防組合の沿革	1
消防配置図	6
予算及び組織	
1. 人口と世帯の推移	9
(1) 人口	9
(2) 世帯数	9
2. 消防組合予算	10
(1) 当初予算	10
(2) 構成町の予算と消防負担金比率	10
(3) 平成 31 年度消防負担金と人口・世帯に対する割合	10
(4) 基準財政需要額との比較	11
(5) 等級別人員	12
(6) 初任給基準	12
(7) 特殊勤務手当	12
3. 組織図	13
4. 消防本部・消防署の事務分掌	14
5. 消防職員	16
(1) 職員配置状況	16
(2) 職員年度別増減状況	16
(3) 職員年齢別状況	17
(4) 階級別勤務年数状況	18
(5) 職員教育実施状況	19
(6) 職員資格取得状況	20
予 防	
1. 防火対象物及び立入検査数	23
2. 防火管理者選任等届出数	24
3. 中高層建築物数	25
4. 消防用設備等設置（着工）届出件数	26
5. 法令・条例等届出件数	27
6. 建築確認等同意件数	28

7. 危険物	29
(1) 危険物施設数	29
(2) 危険物施設数量別数	29
(3) 危険物事務処理件数	30
(4) 危険物許認可等手数料	31
8. 火薬類許可状況	31
9. 防火管理者資格取得講習会実施状況	32
10. 消火・避難訓練等指導実施状況	32
火災等	
1. 年別火災発生件数	35
2. 火災概要（総括）	36
(1) 火災概要（毛呂山町）	37
(2) 火災概要（鳩山町）	38
(3) 火災概要（越生町）	39
3. 原因別火災発生件数	40
4. 時間別火災発生件数	41
5. 曜日別火災発生件数	42
6. 火災出場状況	43
7. 災害等出場状況	44
救急・救助等	
1. 救急年別出場件数	47
2. 救急出場件数	48
3. 救急搬送人員	48
4. 年齢区分別搬送人員	49
5. 救急傷病程度別搬送人員	50
6. 救急時間別出場件数	50
7. 現場到着所要時間別出場件数	51
8. 病院収容所要時間別搬送人員	51
9. 発生場所別搬送人員	51
10. 事故種別応急処置件数	52
11. 疾病別搬送人員（急病）	52
12. 医療機関別搬送人員	53
13. 救助出場件数	54
14. 活動・救出時間別件数	54
15. 応急手当の普及講習修了者数	55

16.	救急相談ダイヤル相談件数	55
17.	派遣型救急ワークステーション出場件数	55
消防施設等		
1.	車両配置状況	59
2.	坂戸・鶴ヶ島消防組合 西入間広域消防組合指令センター系統計図	63
3.	無線局一覧	64
4.	無線局一覧（携帯等）	65
5.	119番受信状況（総計）	66
6.	固定電話からの119番受信状況（IP電話含む）	66
7.	携帯電話からの119番受信状況	66
8.	一人暮らし高齢者緊急通報システム受信状況	67
9.	消防車積載品等一覧	68
10.	救急車積載品等一覧	71
11.	機械器具一覧	72
12.	消防水利状況	73
気 象		
1.	天 候	77
2.	気温、湿度、風速	77
3.	雨 量	78
4.	年別降雨量	78
応 援 協 定		
1.	消防相互応援協定	81
消 防 団		
1.	団員編成表	87
2.	団員勤続年数表	88
3.	団員年齢表	89
4.	団員報酬	90
5.	団員手当	90
6.	退職報償金	90
7.	可搬動力ポンプ配置状況	91
8.	車両配置状況	92
9.	少年少女消防団員	95
10.	火災出場件数	96

西入間広域消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

- 昭和51年 11月 1日
- ・毛呂山町及び鳩山村は消防事務を共同処理するため、毛呂山・鳩山消防組合を設立
 - ・管理者に毛呂山町長 下田養平氏就任
 - ・副管理者に鳩山村長 保積 實氏就任
 - ・消防本部を毛呂山町役場内に設置
 - ・消防長事務取扱者に管理者就任
 - ・職員任命 併任1名、消防吏員1名、嘱託1名

- 昭和52年
- 2月 9日
- ・連絡車1台購入(トヨベツ コロナバン)
- 4月 1日
- ・消防本部を仮庁舎(毛呂山町大字岩井2451番地)に移転
 - ・職員任命 消防吏員10名その他の職員1名 職員総数14名となる
- 4月 8日
- ・消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定を受ける(毛呂山町、鳩山村)
- 6月 1日
- ・職員任命 消防吏員1名 職員総数15名となる
- 6月 2日
- ・職員任命 消防吏員8名 職員総数23名となる
- 7月 1日
- ・職員任命 消防吏員12名 職員総数35名となる
- 8月 5日
- ・救急車1台購入(日産 キャラバン)
- 8月 27日
- ・指令車1台購入(トヨベツ コロナマークII)
- 9月 17日
- ・副管理者に鳩山村長 宮崎得一氏就任
- 9月 21日
- ・消防用無線基地局開局(しょうぼう もろはと)
- 9月 24日
- ・水槽付消防ポンプ自動車1台購入(イスズ フォワード)
 - ・消防ポンプ自動車1台購入(日産 ファイヤーパトロール)



管理者による点検

2. 業務開始

- 昭和52年
- 10月 1日
- ・消防署を仮庁舎(毛呂山町大字岩井2451番地)に設置し、消防業務開始
 - ・職員任命 消防吏員2名 職員総数37名となる
- 10月 31日
- ・東松山地区消防組合、小川地区消防組合及び日高町と消防相互応援協定を締結
- 11月 1日
- ・坂戸・鶴ヶ島消防組合と消防相互応援協定を締結



消防業務開始

- 昭和53年
- 1月 26日
- ・救急車1台を社団法人日本損害保険協会より寄贈を受ける(日産 キャラバン)
- 2月 14日
- ・指令車1台購入(トヨベツ コロナバン)
- 2月 25日
- ・連絡車を指令車に改造(トヨベツ コロナバン)
- 4月 1日
- ・職員任命 消防吏員4名 職員総数39名となる
- 5月 1日
- ・職員任命 その他の職員1名 職員総数40名となる



消防署仮鳩山分署

- 昭和54年
- 4月 1日
- ・職員任命 消防吏員8名 職員総数48名となる
- 8月 1日
- ・職員任命 消防吏員1名 職員総数49名となる
- 10月 1日
- ・消防署仮鳩山分署(鳩山村大字赤沼2435番地)を設置し救急業務開始
- 10月 21日
- ・飯能市と消防相互応援協定を締結



消防本部消防署庁舎竣

- 昭和55年
- 1月 28日
- ・越生町と消防相互応援協定を締結
- 2月 19日
- ・消防用無線固定局開局(サイレン吹鳴用)
- 4月 1日
- ・職員任命 消防吏員8名 職員総数57名となる
- 9月 1日
- ・消防本部・消防署庁舎竣工(鉄筋コンクリート造 3階建)

3. 組織変更

- 昭和55年
- 10月 1日
- ・名称を西入間広域消防組合に変更
 - ・越生町を編入
 - ・副管理者に越生町長 酒本隆男氏就任
 - ・飯能市、東松山地区消防組合、小川地区消防組合、坂戸鶴ヶ島消防組合及び日高町と消防相互応援協定の一部を改正
 - ・救急車1台越生町より移管(日産キャラバン)
- 11月 15日
- ・積載車1台 毛呂山消防団より移管(ダットサントラック)
- 12月 21日
- ・消防救急指令装置設置(B型沖電気PD-1007S3)



消防救急指令装置設置

- 昭和56年
- 1月 28日
- ・消防用無線基地局第二装置開局(救急系)
- 4月 1日
- ・埼玉県救急医療システム運用開始
 - ・職員任命 消防吏員8名 職員総数62名となる
 - ・埼玉県消防協会越生支部を西入間支部に変更
- 4月 2日
- ・消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定を受ける(越生町)
- 11月 9日
- ・指令室へ気象観測装置設置
- 11月 30日
- ・予防車1台購入(危険物安全協会協力車)(トヨタ ランドクルーザー)
- 12月 8日
- ・水槽付消防ポンプ自動車1台購入(イスズ フォワード)

- 昭和57年 2月 10日 ・ 西入間広域消防組合章制定
 3月 2日 ・ 積載車1台 越生消防団より移管(イズム エルフ)
 3月 23日 ・ 消防署訓練塔竣工(A塔、B塔、C塔)
 4月 1日 ・ 鳩山村が鳩山町となる
 ・ 職員任命 消防吏員8名 職員総数70名となる
 10月 1日 ・ 職員任命 消防吏員3名 職員総数72名となる



消防署訓練塔竣工

- 昭和58年 3月 9日 ・ 消防署鳩山分署庁舎竣工(鉄筋コンクリート造 2階建)
 3月 25日 ・ 消防署鳩山分署訓練塔竣工
 4月 1日 ・ 消防署鳩山分署業務開始
 ・ 職員任命 消防吏員9名 職員総数81名となる
 ・ 積載車1台 鳩山消防団より移管(トヨタ ハイエース)



消防署鳩山分署訓練塔竣工

- 昭和59年 2月 25日 ・ 消防署危険物屋内貯蔵所竣工

- 昭和60年 3月 7日 ・ 消防署越生分署庁舎竣工(鉄筋コンクリート造2階建)
 3月 25日 ・ 消防署越生分署訓練塔竣工
 4月 1日 ・ 消防長に下田一甫氏就任(前消防本部長)
 ・ 消防署越生分署業務開始
 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数82名となる
 ・ 消防ポンプ自動車1台越生消防団より移管(日産ファイヤーパトロール)
 ・ 埼玉県下消防相互応援協定を締結
 10月 28日 ・ 水槽付消防ポンプ自動車(高圧ポンプ付)1台購入(イズム フォワード)



消防署越生分署竣工

- 昭和61年 4月 1日 ・ 指令室へ広報無線固定系遠隔制御器設置(毛呂山町、鳩山町分)
 12月 17日 ・ 救助工作車1台購入(日野 レンジャー)

- 昭和62年 3月 27日 ・ 鳩山分署救急車更新(日産 キャラバン)
 4月 1日 ・ 消防署に救助隊を編成
 8月 11日 ・ 水槽付消防ポンプ自動車1台を
 社団法人日本損害保険協会より寄贈を受ける(日野 レンジャー)
 12月 21日 ・ 小型動力ポンプ付水槽車1台購入(日野 スーパードルフィン)



救助隊編成

- 昭和63年 3月 5日 ・ 消防署救急車更新(トヨタ ハイエース)
 4月 1日 ・ 指令室へ広報無線固定系遠隔制御器設置(越生町分)
 12月 28日 ・ 消防本部・消防署裏車庫竣工(鉄骨造平家建)



消防救急指令装置移設

- 平成 元年 3月 25日 ・ 指令棟竣工(鉄筋コンクリート造3階建)
 ・ 指令棟に消毒室設置、消防救急指令装置移設
 3月 27日 ・ 消防用無線基地局第三装置開局(県波系)
 10月 1日 ・ 職員任命 消防吏員1名 職員総数82名となる



指令棟竣工

- 平成 2年 3月 20日 ・ 消防署越生分署救急車更新(トヨタ ハイエース)
 3月 24日 ・ 消防署消防ポンプ自動車更新(トヨタ ダイナ)
 3月 26日 ・ 独居老人緊急通報システム運用開始
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員1名 職員総数83名となる
 10月 1日 ・ 消防長の階級を消防監とする

- 平成 3年 1月 18日 ・ 水槽付消防ポンプ自動車(高圧ポンプ、パワーゲート付)1台購入(日野 レンジャー)
 2月 14日 ・ 消防本部に軽ワゴン(スズキ エブリイ)消防署に軽トラック(スズキ キャリイ)
 各1台を毛呂山ライオンズクラブより寄贈を受ける
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数84名となる
 ・ 埼玉県防災行政無線通信所開局
 5月 15日 ・ 管理者に毛呂山町長 小山捷児氏就任
 ・ 副管理者に越生町長 本清一雄氏就任
 6月 5日 ・ 指令車1台購入(トヨタ マークII)
 10月 1日 ・ 日高市と消防相互応援協定を締結

- 平成 4年 1月 23日 ・ 指令車1台更新、1台購入(トヨタ カラーワゴン)
 3月 19日 ・ はしご付消防ポンプ自動車30m級1台購入(日野)
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員3名 職員総数86名となる
 ・ 比企広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結



はしご付消防ポンプ自動車購入

- 平成 5年 3月 8日 ・ 化学消防ポンプ自動車(高圧ポンプ付)1台購入(日野 レンジャー)
 4月 1日 ・ 消防長に吉田 勤氏就任(前毛呂山町役場議会事務局長)
 ・ 職員任命 消防吏員4名 職員総数89名となる
 10月 17日 ・ 第15回山林火災防御訓練(毛呂山町大字大谷木地内)
- 平成 6年 2月 14日 ・ 消防署鳩山分署消防ポンプ自動車更新(トヨタ ダイナ)
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員5名 職員総数93名となる
- 平成 7年 3月 3日 ・ 消防庁長官表彰(定例表彰)表彰旗受賞(消防本部・毛呂山消防団)
 3月 20日 ・ 消防緊急通信指令施設更新運用開始
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員6名 職員総数99名となる
 5月 15日 ・ 管理者に毛呂山町長 小峰俊三氏就任
 7月 27日 ・ 救急車1台を日本消防協会より寄贈を受ける(日産 キャラバン)
 11月 15日 ・ 第1号の救急救命士が誕生する
- 平成 8年 4月 1日 ・ 消防長に三塚正明氏就任(前 消防本部長)
 ・ 職員任命 消防吏員3名 職員総数102名となる
 10月 1日 ・ 西入間広域消防組合消防職員委員会を設置
- 平成 9年 3月 4日 ・ 高規格救急自動車購入(トヨタ ハイメデック)
 4月 1日 ・ 消防長に浅見 弘氏就任(前 毛呂山町役場区画整理課長)
 ・ 職員任命 消防吏員3名 職員総数105名となる
 ・ 組織改革 消防本部を2課制、消防署を中隊制
 9月 17日 ・ 副管理者に鳩山町長 石井宏治氏就任
 11月 25日 ・ 予防車 1台更新(トヨタ ハイエース)
 12月 26日 ・ 越生分署消防ポンプ自動車更新(トヨタ ダイナ)
- 平成10年 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数106名となる
 10月 6日 ・ 消防本部に乗用車(トヨタ カローラ)1台を危険物安全協会より寄贈を受ける
- 平成11年 1月 29日 ・ 積載車1台更新(トヨタ ダイナ)
 4月 1日 ・ 消防長に安藤嘉一氏就任(前 毛呂山町役場総務課長)
 5月 15日 ・ 管理者に毛呂山町長 小沢信義氏就任
- 平成12年 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数107名となる
 7月 17日 ・ 副管理者に鳩山町長 保積 力氏就任
- 平成13年 2月 26日 ・ 副管理者に越生町長 仲 元斌氏就任
 4月 1日 ・ 消防長に小室 英昭氏就任(前 消防本部長)
 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数107名となる
- 平成14年 2月 2日 ・ ホームページ開設(<http://www.119nishiuma.jp>)
 11月 1日 ・ 毛呂山町より職員出向1名 職員総数108名となる
- 平成15年 1月 20日 ・ 連絡車1台購入(トヨタ プリウス)
 2月 5日 ・ 高規格救急自動車購入(トヨタ ハイメデック)
 3月 2日 ・ 第1回消防フェアを開催する
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数110名となる



消防緊急通信指令施設更新



第1回消防フェアを開催

- 平成16年 1月 9日 ・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ車更新(日野 レンジャー)
 4月 1日 ・ 消防長に清水 逸司氏就任(前 消防本部長)
- 平成17年 2月 25日 ・ 副管理者に越生町長 本清 一雄氏就任
 3月 7日 ・ 救助工作車更新(日野)
 3月 30日 ・ 一日消防署長を開催する
 11月 14日 ・ 第2回一日消防署長を開催する
- 平成18年 3月 29日 ・ 第3回一日消防署長を開催する
 3月 31日 ・ 消防吏員退職2名 職員総数107名となる
 11月 14日 ・ 第4回一日消防署長を開催する

- 平成19年 1月 30日 ・ 小型動力ポンプ付軽消防自動車 日本損害保険協会より寄贈される
 3月 26日 ・ 軽ワゴン車購入
 3月 28日 ・ 第5回一日消防署長を開催する
 4月 1日 ・ 消防長に 市川 隆志氏就任(前 消防本部次長)
 ・ 職員任命 消防吏員4名 職員総数106名となる
 ・ 消防署の組織を2交代制に変更し指揮隊を編成
 11月 14日 ・ 第6回一日消防署長を開催する
- 平成20年 1月 31日 ・ 本署高規格救急自動車更新(トヨタ ハイメディック)
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員2名 職員総数106名となる
 ・ 救急救命士16名となる
 ・ 消防本部及び消防署の組織を係制から担当制に変更
 7月 16日 ・ 副管理者に鳩山町長 小峰 孝雄氏就任
- 平成21年 1月 30日 ・ 鳩山分署高規格救急自動車更新(トヨタ ハイメディック)
 2月 25日 ・ 副管理者に越生町長 田島 公子氏就任
 3月 27日 ・ 第7回一日消防署長を開催する
 4月 1日 ・ 消防長に 村田 茂久氏就任(前 消防本部次長兼消防署長)
 ・ 職員任命 消防吏員4名 職員総数106名
 11月 24日 ・ 連絡車更新(トヨタ エスティマ ハイブリッド車)
 12月 22日 ・ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車更新(圧縮空気泡消火装置装備)(日野 レンジャー)
- 平成22年 2月 16日 ・ 本棟庁舎耐震工事竣工
 3月 29日 ・ 第8回一日消防署長を開催する
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員4名 職員総数108名となる
 10月 28日 ・ 西入間警防1号車更新(トヨタ プリウスS)
- 平成23年 2月 9日 ・ 水槽付消防ポンプ自動車更新(日野 デュトロ)
 3月 28日 ・ 第9回一日消防署長を開催する
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員6名 職員総数110名となる
 5月 16日 ・ 管理者に毛呂山町長 井上 健次氏就任
 12月 9日 ・ 西入間予防2号車更新(トヨタ ライトエース)
- 平成24年 3月 30日 ・ 消防緊急通信指令装置更新
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員3名 職員総数111名となる
 7月 26日 ・ 住宅用火災警報器設置推進モデル地区制度を開始
 ・ 毛呂山町の6地区を住宅用火災警報器設置推進モデル地区に指定
 10月 12日 ・ 鳩山町の5地区、越生町5地区を住宅用火災警報器設置推進モデル地区に指定
 11月 29日 ・ 緊急消防援助隊関東ブロック訓練(埼玉県)
 12月 19日 ・ 鳩山分署、越生分署指令車を更新(ダイハツ ハイゼット)
 12月 25日 ・ 救急鳩山1号車更新(トヨタ ハイメディック)
- 平成25年 2月 25日 ・ 副管理者に越生町長 新井 雄啓氏就任
 4月 1日 ・ 消防長に 佐久間 賢三氏就任(前 消防本部総務課長)
 ・ 職員任命 消防吏員4名 職員総数108名となる
 ・ 埼玉西部消防局と消防相互応援協定を締結
 7月 22日 ・ 坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合消防通信指令事務協議会を設置する
 8月 1日 ・ 職員任命 消防吏員1名 職員総数108名となる
 12月 13日 ・ 軽トラック車購入(ダイハツ ハイゼット)
- 平成26年 1月 30日 ・ 越生1号車更新(日野 レンジャー)
 4月 1日 ・ 職員任命 消防吏員6名 職員総数113名となる
 ・ 組織改革 消防本部を3課制とする
 ・ 消防署の組織を試行的に3部制とする
 10月 1日 ・ 救急相談ダイヤル設置
- 平成27年 4月 1日 ・ 消防長に 秋葉 幹史氏就任(前 消防本部次長)
 ・ 職員任命 消防吏員12名 職員総数113名となる(再任用1名)
 ・ 消防本部及び消防署の組織を担当制から係制に変更
 ・ 坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合
 消防通信指令業務共同運用開始
 6月 30日 ・ 秋葉 幹史消防長が毛呂山町役場へ帰任
 7月 1日 ・ 消防長に 瀬波 行男氏就任(前 毛呂山町議会事務局長)
 8月 28日 ・ 総務2号車更新(スズキ ワゴンR)
 9月 27日 ・ 消防フェア開催
 9月 30日 ・ 消防吏員退職1名 職員総数112名となる



消防緊急通信指令装置更新

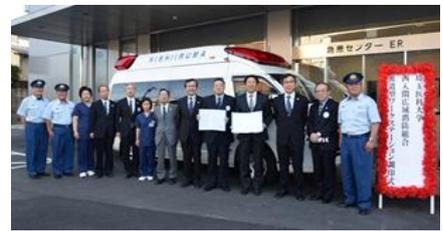


救急相談ダイヤル設置



消防通信指令業務共同運用開始

- 平成28年
- 4月 1日 ・職員任命 消防吏員9名 職員総数115名となる
 - ・埼玉医科大学病院と派遣型救急ワークステーション運用開始
 - ・消防救急無線アナログ波からデジタル波にて運用開始
 - 5月 10日 ・管内AED保有事業所と地域ささえあい自動体外式除細動器貸出協力事業者協定を締結
 - 10月 1日 ・幼年消防クラブ発足
 - 10月 16日 ・消防フェア開催



西入間広域消防組合派遣型救急ワークステーション調印式

- 平成29年
- 3月 21日 ・指揮支援車運用開始
 - 4月 1日 ・消防長に 神山 和之氏就任(前 消防本部長)
 - ・職員任命 消防吏員4名 職員総数115名となる
 - ・組織改革 消防本部を4課制とする
 - 5月 31日 ・映像伝送機材使用貸借契約締結
 - 8月 22日 ・西入間少年少女消防団発足
 - 9月 5日 ・越生分署改修工事竣工
 - 9月 9日 ・西入間広域消防組合開設40周年記念式典挙行



地域ささえあい自動体外式除細動器貸出協力事業者協定



指揮支援車運用開始



平成29年8月22日(火) 西入間少年少女消防団入団式



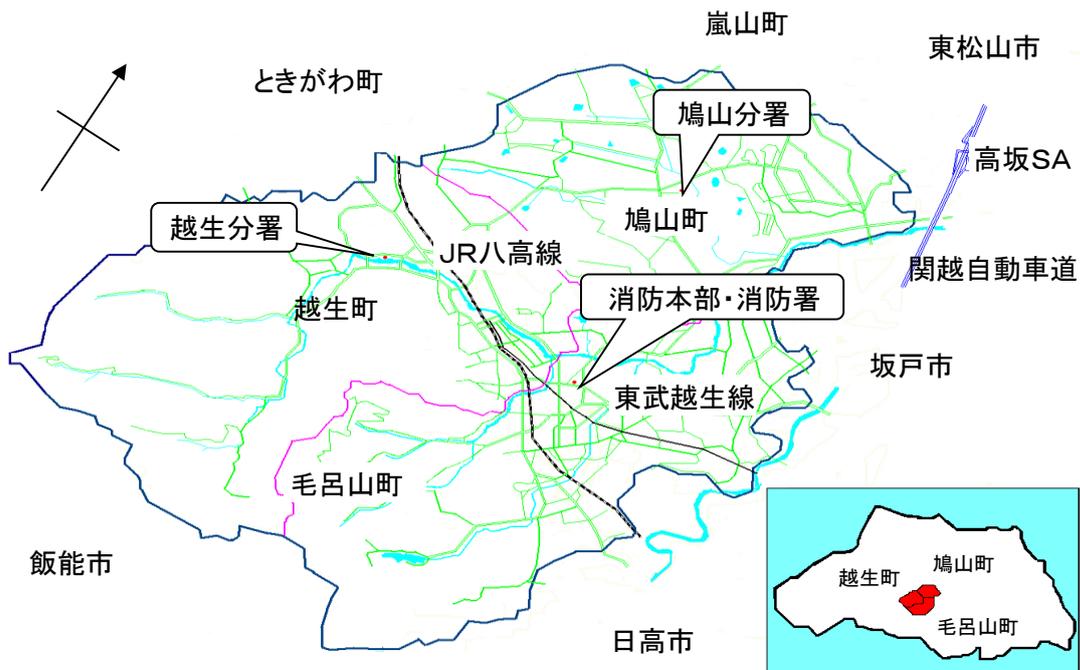
西入間広域消防組合開設40周年記念式典

- 11月 16日 ・指令棟・鳩山分署改修工事竣工
- 12月 11日 ・消防本部に防災広報車(日産 バネット)1台を日本消防協会より寄贈を受ける

- 平成30年
- 3月 14日 ・本棟改修工事竣工
 - 3月 31日 ・消防吏員退職4名(救急救命士1名)
 - 4月 1日 ・消防長に 村田 正実氏就任(前 消防本部長)
 - ・職員任命 消防吏員4名 職員総数117名となる(再任用2名)

- 平成31年
- 3月 7日 ・災害用バイク導入
 - 3月 31日 ・消防吏員退職7名(救急救命士1名)その他の職員2名
 - 4月 1日 ・消防長に 干装 良治氏就任(前 消防本部長)
 - ・職員任命 消防吏員8名 職員総数118名となる(再任用4名)
 - ・毛呂山消防団機能別学生消防団員加入

消防配置図



	消防本部・消防署
所在地	毛呂山町大字岩井2451番地
敷地面積	5,562.48㎡
構造	鉄筋コンクリート造3階建
延面積	2,172.63㎡
使用開始	本棟 昭和55年10月1日 (耐震補強平成22年2月16日) 指令棟 平成元年 4月1日



	鳩山分署
所在地	鳩山町大字熊井22番地
敷地面積	3,304.97㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階建
延面積	523.57㎡
使用開始	昭和58年 4月1日



	越生分署
所在地	越生町大字成瀬414番地1
敷地面積	1,822.21㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階建
延面積	520.53㎡
使用開始	昭和60年 4月1日